

福建特賞



概要説明書

支 部 名	福岡 支 部
受 賞 者 名	株式会社 松本組
工 事 箇 所	室見川 福岡市早良区大字東入部
事 業 名	平成30年災害土木事業

受賞理由

本工事は、H30年7月豪雨により被災した河川護岸の災害復旧工事である。高圧線の鉄塔が近接しており、細心の注意を払い施工を行わなければならない上、下流のシロウオ漁業開始時期までに現場を終わらせる必要があること、シロウオ・海苔に影響が出ないよう環境対策を行うこと等が求められた。このように多くの制約がある中で、迅速かつ丁寧に施工に取り組み、トラブルもなく施工をやり遂げた(株)松本組の姿勢や努力は福建特賞に値するものである。

福 建 賞



概 要 説 明 書

支 部 名	八 女 支 部
受 賞 者 名	株 式 会 社 尋 木 組
工 事 箇 所	県 道 柳 川 筑 後 線 筑 後 市 大 字 津 島
事 業 名	活 力 創 出 基 盤 整 備 総 合 交 付 金 (建 設)

受 賞 理 由

本工事箇所は、県道柳川筑後線バイパスとJR鹿児島本線・九州新幹線と立体交差し、その交差部へのアプローチとして新設する場所打U型擁壁工事である。
本工事の特色としては、JR委託工事と隣接することから、工程調整が重要となり、毎月、工程調整会議を実施しながら工事を進めてきた。
また、クラック防止対策(誘発目地)など自主的に追加する等、重要構造物の品質向上の観点からも自発的な対応を行い、併せて、本工事周辺は現況地盤から約2m下に地下水が存在することから、常時、湧水処理(水替・止水矢板)を講じながら本工事を安全、且つ、迅速に完成させたことが、福建特賞に値するものと評価するものである。

福 建 賞



概 要 説 明 書

支 部 名	京 築 支 部
受 賞 者 名	株 式 会 社 放 作
工 事 箇 所	県 道 新 北 九 州 空 港 線 京 都 郡 苅 田 町 大 字 苅 田
事 業 名	地 域 高 規 格 道 路 等 (建 設)

受 賞 理 由

本事業は、東九州自動車道苅田北九州空港ICから空港などへのアクセス向上を図るため、主要地方道門司行橋線と町道を跨ぐ高架事業である。本工事の特色は、交通量の多い道路(約1万台/日)に近接する現場状況の中、複数工区(14工区6社)が近接して、道路中央部(W=約14m)の限られたヤードで施工を行わなければならない工事である。このため、通行車両などへの配慮や近接工区との工程調整が重要であった。

当業者は、自らが安全連絡協議会を立上げ、幹事長として工程調整会議(月1回)などを実施、通行車両への配慮として飛散防止対策も行った。これにより、道路利用者からの苦情、業者間のトラブルや事故もなく工事を完了させた。また、近隣の大学生をインターンシップで受け入れることにより、若手土木技術者の育成にも貢献したことから、福建賞に値するものと評価するものである。

福 建 賞



概 要 説 明 書

支 部 名	北九州	支 部
受 賞 者 名	株式会社	井上組
工 事 箇 所	大島港	宗像市大島
事 業 名	港湾改修事業	

受賞理由

本工事は、宗像市大島にある大島港の1号物揚場の補修工事である。フェリーが着岸する1号物揚場の施設の陥没や傾斜が確認されたため、補修工事（エプロン補修、係船柱補修、車止補修、防舷材補修、表面被覆工）を実施した。

現場は、フェリーが運航している中での工事であり、また、潮位の影響を受ける場所であったことから、施工時間に制約があったが、施工者は自主的なデータ収集や運航管理者との協議を熱心に行い、工事の進捗に寄与した。また、フェリーや来訪者の近くの施工であったことから、施工空間の制約があったが、施工者は仮設計画を工夫し、入念な安全対策を行うことにより、フェリーや来訪者への負担を極力抑え、無事に工事を完了させた。今後、大島の観光振興や地域活性化に寄与するものであり、福建賞に値するものと評価する。